

昭和62年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動」

◎ まえがき

部会長 尾崎 昭典

- ・ 「学級会活動」と「学級指導」を統合して「学級活動」を設けることになる。
- ・ 学校教育の現状が学力偏重に陥っているのを改めて、自ら考え正しく判断できる力を持つ子どもの育成を図ろうとするならば、児童の自発的・自治的な実践活動を促す学級会活動こそ、改善のねらいに直結し強化されなければならない。

◎ 特別活動の充実発展をめざして

指導主事 須田 淑男

- ・ 教育課程審議会の答申では、人間として調和のとれた発達をめざし…と述べているが、これは特別活動のねらいでもある。
- ・ 豊かな人間性を育てる特別活動には、「国際化」「創意工夫」「指導性」「集団活動の充実」といったいくつかのポイントがあり、さらなる特別活動の充実を図りたい。

◎ 師動案

指導主事 菱田 功

- ・ 指導案は、子供と教師の活動計画である。そこには教師がどのように活動（指導）するのかが明確にされていなければならない。すなわち「指導案」は「師動案」でなければならない。こどものつまずきを含めて予想し、どのような助言を行うか、また、その助言が適切であったかを反省する。その繰り返しが学級会の指導向上につながる。

第1部 小学校編

◎ 一人一人の心情的な高まりを図る学級活動

- 1 楽しさを味わわせる話合い活動の指導
- 2 一人一人が生き生きと取り組む話合い活動
- 3 一人一人が楽しく参加できる学級集会の指導
- 4 協力しながら進んで取り組む学級集会活動

◎ 全校の願いや考えを取り入れた児童会活動の試み

- 1 計画委員会の活動を重視した代表委員会の指導のあり方
- 2 全校児童の心の触れ合いを図る代表委員会活動の指導
- 3 意欲的に取り組ませる緑化委員会の指導
- 4 全校児童がより身近に感じる放送委員会の活動
- 5 異学年相互の仲間づくりをめざした全校児童集会
- 6 全校児童のふれあいを高める集会活動

◎ 児童の主体的な活動を促すクラブ活動の指導

- 1 グループ活動を取り入れた活動形態の工夫
- 2 数単位時間の流れの活動計画の工夫
- 3 1時間の活動の工夫

◎ 好ましい人間関係を育てる学級指導

- 1 事前の調査活動を生かし、指導効果を上げる工夫
- 2 解決の方法を考えさせる資料の工夫

- 3 実践意欲を高める指導過程の工夫
- 4 実践意欲を継続し、行動の定着化を図る事後指導の工夫

◎ 児童の参加意欲を高め、満足感を味わわせる学校行事

- 1 満足感を高める運動会 ― 6年生の指導を通して―
- 2 参加意欲を高める開校記念関連行事
- 3 参加意欲を高める終業式
- 4 参加意欲を高める遠足

第2部 中学校編

◎ 認め合い励まし合う学級会活動の指導

- 1 学校生活改善の話合い活動
- 2 お互いの存在を認め合う学級集会活動
- 3 生活班と切り離れた生徒が作る係活動
- 4 生徒の持ち味を生かした係活動

◎ 活動意欲を引き出す生徒会活動

- 1 参加意欲を高める生徒会活動―生徒集会の工夫を通して―
- 2 積極的参加をめざす生徒会活動―学級独自の工夫を生かした応援合戦―
- 3 豊かな心を育てる生徒会活動―アルミ缶回収・老人慰問活動を通して―
- 4 生徒自らの手で校内の問題を解決する活動―「おじぎ」問題への取り組み―
- 5 一人一人の活動意欲を高める委員会活動―全生徒が参加する部会活動を通して―

◎ 自主的 実践的な態度を育てる学級指導

- 1 学級の仲間を互いに認め合わせる学級指導
- 2 認め合う態度を育てる学級指導
- 3 生活環境の改善を図る学級指導
- 4 自己指導の力を育てる学級指導

◎ あとがき

委員長 吉田 光武

・特活の教師は、全教科・領域にわたり、一人一人の子供を育てていくという理念と技術を模索する人であらねばならないし、又、同じ意味で、教師集団を高めていく人にならねばならない。